

大使館からのお知らせ  
(感染症に対する注意喚起)

平成28年1月22日

当館管轄国にご滞在の皆様へ

当地域では、蚊を媒介とした“ジカ熱 (Zika virus)”及び、日本国内では2011年より「季節性のインフルエンザ」の一つとして扱われている“豚インフルエンザ (Swine flu, H1N1)”の流行が深刻な問題として報じられています。

1. 以下は報道からの抜粋です。

ジカ熱関連

○ブラジル

保健省では昨年11月、妊婦中のジカ熱感染と胎児の小頭症に関連が見られることを発表

○バルバドス

(1月18日報道) 保健省が3人の陽性反応を確認

○スリナム

(1月21日報道) スリナムにおいてジカ熱による4人目の死亡者(75歳)が確認された。さらに2015年10月以降、1月上旬までに103人にジカ熱のウィルスの陽性反応が出たことを発表

豚インフルエンザ関連

○中米・カリブ地域 (バルバドス)

(1月15日報道) 欧州疾病予防管理センターによれば、中米・カリブ地域における死亡者は237人に上り、バルバドスでは4名が確認されている。

○トリニダード・トバゴ

(1月21日報道) 保健省はトリニダード島東部サングレ・グランデの病院において61歳の男性が豚インフルエンザ・ウィルス及び高血圧の合併症で死亡したと発表した。同ウィルスによる死亡者は6人目、またこれまでの感染者数は68人に上る。

○ガイアナ

4日報道、50代のガイアナ人男性が中国から帰国した約2週間後に豚インフルエンザを発病し、その後国外の医療施設に移送された。

2. 予防の方法等

ジカ熱

- (1) 虫除けスプレーを使用する、蚊取り線香や殺虫剤を使用するなど蚊に刺されない対策を小まめにおこなう。
- (2) 蚊が多いと思われる場所に行く場合には長袖、長ズボンなどを着用し肌の露出を少なくする。
- (3) 蚊の繁殖を抑えるため、屋外の水が溜まるところにカバーをする。水が溜まりやすいタイヤ、バケツなどを放置しないなどの対策をとる。

### 豚インフルエンザ

- (1) 外出後は流水・石鹸による手洗いを小まめにおこなう。消毒用アルコールジェルやスプレーも有効である。
- (2) 空気が乾燥するとインフルエンザにかかりやすくなるので、適度に湿度を保持する。
- (3) インフルエンザ流行中は、特に糖尿病などの基礎疾患のある方、妊婦、疲労気味の方、ご高齢の方は、人混みや繁華街への外出を控える。

平素から、体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスの取れた栄養摂取、規則正しい生活を心がけてください。またこれらの感染症にかかった疑いがある場合（発熱、関節痛などの症状）は、医師の診断を受けてください。周りに感染者を増やさないためにも大切です。

### **【参考情報】**

○海外安全ホームページ「中南米地域におけるジカ熱及びデング熱の発生」  
<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pwideareaspecificinfo.asp?infocode=2016C015>

○厚生労働省検疫所 FORTH ホームページ「ジカウイルス発生状況についてーガイアナ、バルバドス、エクアドル」  
<http://www.forth.go.jp/topics/2016/01211131.html>

○厚生労働省「インフルエンザQ&A」  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/qa.html>

※なお、新たな情報等がありましたら大使館領事担当までお知らせください。  
(在留届を出された方で、帰国又は転出された方がいらっしゃいましたら下記にご連絡ください。)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館領事班

電話＋1－868－628－5991（内線215）

E-mail : [ryouji@po.mofa.go.jp](mailto:ryouji@po.mofa.go.jp)